



海のたより



6月早朝レース
フィニッシュ直前のベベ

| 目次 | 行事予定 |
|------------------|------------------------------------|
| 表紙 MCCカップ優勝ベベ | 7月 13-15日 全日本ミドルボート選手権 |
| P 2 ベベ優勝記 | 7月 20,21日 MCC三河湾周遊レース |
| P 3 6月早朝、各艇のコメント | 7月 26-28日 パールレース |
| P 4 スモールあや優勝記 | 8月 4日 蒲郡マリンカップ&スモール |
| P 5 蒲郡マリンカップ案内 | 8月 25日 理事長杯ヨットレース |
| P 6 同上申込書 | 蒲郡市水源地交流事業・体験乗船 MCC40周年記念バーベキュー |

「ベベ早朝レース優勝の記」

近藤勝美

午前2時に一度目が醒めた時はかなり強い雨が降っていたが、5時に起きた時はすっかり晴れていた。北西の強風が吹くかと思いつながりハーバーに着いたが、風は一向に吹かない。今日のレースはベベが猪俣さんと都築さんの2人しか乗れないので、うらなみから4人が乗せてもらうことになった。

僅かな風の中、7時にスタートが切られた。10分後にダンシングビーンズがスタートした時は殆どの艇はスタートライン近くのまま。いきなり10分のボーナスを貰ったダンシングビーンズが優勝に一番近いポジションを得た。各艇、各々の思惑で弱い風の中、右へ左へと散らばっていった。

潮流ヴィを過ぎ豊橋マークの手前のカームで先行していた全ての艇が前方で止まっていた。ベベは止まるか止まらないかの微風を受け、皆が待っているカームの海面まで何とか辿りついた。

この時点でダンシングビーンズはレーティングに近い殆どの艇とはスタート時の10分のアドヴァンティージを維持しているが、ベベに対してはそのアドヴァンティージを失った。ダンシングビーンズとベベの2艇が他艇に対し10分ほどのアドヴァンティージを持っての再スタートとなった。

豊橋マークを回った後はスピランとなったが、ホーネットを先頭に多くの艇が南沖から来る風を見込んで西へ出したが、ベベは惑わされず梶島ヴィへのラムラインに艇を向けた。

西沖だしフリートの中では狙い通りホーネットとダンシングビーンズは梶島ヴィに素早く到達できたが、後続艇はカームに捕まり何艇かはその後の岸側から風が強まっていち早く走り出したベベの後塵を拝することとなった。

梶島までの前半は変化に富んだトリッキーなレース展開であったが、後半は変化に乏しく梶島から豊橋まではクローズホールドより5°から10°くらい落とした風向でタックはなし。豊橋からフィニッシュまでは風も上がり快走、アパレントウィンドで150°～160°方向からの追い風でジャイヴなしのスピランだった。

ただ、単調なセーリングの中での細かい変化に対する集中力は大切。豊橋マークへのレグでは風の強弱で相対風向は常に5°から10°くらい変化しており、ゼノアとメインの、特にゼノアのトリムを飽きることなく続け、豊橋からフィニッシュのレグではスピンのガイの出し入れをこれまた飽きることなく合わせて約2時間に渡って続けた。

フィニッシュ後はダンシングビーンズとホーネットに逃げられたと思っていたので、優勝が分かった時は艇長の猪俣さんはじめ、皆大感激でした。

勝因は後半以降に風が強まるというレース展開がレーティングの低い後続艇に有利だったこと、往きの豊橋マークの手前のカームでダンシングビーンズがベベに対してだけアドヴァンティージを失ったこと、梶島ヴィ手前で岸から強まった良い風が拾えたこと、レース復路の2時間の間集中力が維持できたこと、この4点だと思います。

皆を楽しませてくれる猪俣さんの人柄と都築さんのレースへの情熱で楽しい時間を過ごさせていただきありがとうございました。コミッティの方、レース参加艇の皆さんありがとうございました。先月の第1レースに続き、今回の優勝でベベは日本経済より一足先に復活を果たしました。



| 名称 | MCCカップレース | | | | | | | |
|--------|------------------------|----------------|-------|----------|----|---------|---------|----|
| コース | S-小島-豊橋潮流-梶島-豊橋潮流-小島-F | | | | 距離 | 19 | | |
| セール No | 艇名 | TYPE | MRC | 到着時刻 | 着順 | 所要時間 | 修正時間 | 順位 |
| 4825 | BeBe | Pioneer 9FR/PB | 0.913 | 12:38:24 | 6 | 5:38:24 | 5:08:58 | 1 |
| 5933 | Dancing Beens 3 | Seam 31 | 1.011 | 12:12:00 | 1 | 5:12:00 | 5:15:26 | 2 |
| 3687 | Runner II | Yamaha 30SII | 0.930 | 12:42:19 | 8 | 5:42:19 | 5:18:21 | 3 |
| 5791 | Homet | Seam 31 | 1.010 | 12:16:40 | 2 | 5:16:40 | 5:19:50 | 4 |
| 6356 | SUDARENO | hayashi 990 | 0.926 | 12:48:58 | 9 | 5:48:58 | 5:23:09 | 5 |
| 4774 | Armis 5 | J/V9.6CR | 1.012 | 12:28:24 | 3 | 5:28:24 | 5:32:20 | 6 |
| 3173 | Odyssey | Seam 31 | 1.013 | 12:28:30 | 4 | 5:28:30 | 5:32:46 | 7 |
| 5550 | Super Wave 6 | Slot 31 | 0.990 | 12:36:27 | 5 | 5:36:27 | 5:33:05 | 8 |
| 4932 | Lutris | Slot 31 | 0.991 | 12:41:09 | 7 | 5:41:09 | 5:38:05 | 9 |

6月早朝MCCカッブコメント

・ベベ

6月の早朝レースは、縁起がいい。優勝する確率がたかい。
風のない中でジタバタせずにプロパーコースを守ったのが勝因か。
ニューセイルのジブが当たったか。



・ダンシングビーンズ

今日は、コミッティ。風が無いけどロングだから定刻通りのスタートと決めて望んだ。
わずかに風があったので予定通りスタートがきれた。自分達は、少し気が引けたが、10分遅れのスタート目指しスタートラインへ。4分前にE/GOFF。結果4分遅れでスタートラインを切った。なぜか微風だけど良く動き、しばらくするとトップに。

豊橋は、トップ回航で行けたが、梶島までの間でホーネットに抜かれ、どんどん置いて行かれ、10分遅れで梶島回航。その後、風が吹き出し後続艇に追いつかれフィニッシュ。
結果、2位。今年のMCC初戦、楽しめました。ありがとうございました。

・ランナー

風が少ない中でのスタート、苦労しました。
中間コースがわざわざいして、本船の右側通過？でルートリス、スーパーウエーブとのランデブー、楽しかったです。後半は、少しずつ離されてしまい残念でした。次回、頑張ります。



・ホーネット

梶島では、ダンシングにも10分程差をつけて1位で回航。風が落ちなければいい成績が望めそう、と思っていましたが、その後、南のいい風が吹いてきて、修正では、4位まで落ちてしまいました。私(正木)の他は、ハイエイジの3人。4人で、比較的上手く風をつかめ、ファーストホーム(修正前)出来て、いいレースでした。

・すだれの

久々のレースでしたが、楽しくセーリング出来ました。
成績も5位で、まあまあでした。ありがとうございました。



・アルミス

豊橋潮流バイ回航後、梶島方向へ向けるか、沖へ出すかが勝負の分かれ目でした。残念ながら、アルミスには、風が見えませんでした。まだまだ修行が足りません。
梶島マーク回航後は、新生オデッセイとのスピード勝負でした。2、3年前、セレスティーヌにスピランで、先行されたことが、思い出されましたが、今回は何とか勝つことが出来ました。

・Newオデッセイ

3号艇のデビュー戦となりました。
今回は、とりあえず同型艇との走り比べが主な目的でしたがスタートからの気まぐれな風に翻弄され、四苦八苦。潮流バイに達するまでは、まずまずですが、その後、ホーネットとダンシングとコースを異にし、更に、ホーネット爆走で計画はパア。
帰路はアルミスと走り較べでしたが、ここでもチョイ負け。この高いレーティングでこれからどうMCCで戦うのか、大きな課題となりました。



・ルートリス

久しぶりにクルーが揃い、今年初レースです。
スタートは、艇が集まっているリミットマーク側を避けていいスタートが切れましたが、その後、無風帯で序じよに順位を下げてしまいました。豊橋バイを回って、風が上がってきてちょっと挽回。
2度目の無風帯でリタイアかなと話している海面全体が、波立ってきて、梶島バイを回る頃には、順風に！豊橋バイ回航後、2度目のスピンもうまくトリム出来ました。

成績は、...でしたが、一喜一憂しながら楽しい夏のレースを楽しむことが出来ました。

6月スモール、あや優勝記

鳥居

今回のスモールクラスは2艇の参加で寂しいレースとなりました。

最近のスモールは参加艇の少なさが気になります。スモールクラスのレースはあまりハードでもなく楽しく遊べるヨットライフです。もうすこし多くのヨットが参加して楽しんでほしいものです。

さて当日のレースは、風は4m 前後11時00分スタートで上マークを竹島沖に設定するも風向の振れがひどく、上マークを変更大島西沖と思いきや、さらに南にふれ小島沖のブイを上マークとし、当初上マークのブイを撤去後にリミットマークを打ち直した。スタートを延期し11時20分スタートになった。

あやははやぶさの上を少しのぼらせぎみでスタート、2タック後上マークをはやぶさに少し遅れて回航即スピニアップ、1ジャイブで下マークを順著に回航。はやぶさはスピンジャイブの後かなり手間取っていてあっさり逆転できた。その後ははやぶさはさらにトラブル、下マーク回航後にリタイアしてしまった。

我々は上マークを確認し小さいブローに合せてのぼりぎみで走らせ2タックで上マークを回航。回航し即ジャイブ後にスピニアップ。相手はリタイア、気楽に操船しミスなく良い走りでフニッシュしました。

楽しい一日でした。



スタート前の・・・



ミーティング、あやが少し先行



ディギーの間を縫って上マークへ



ジャイブトラブルに苦戦するハヤブサ



スピンあきらめた



蒲郡荘のミーティング

| | | | | | | | | |
|--------|--|----------|-------|----------|----|---------|---------|----|
| コメント | 北西の風、竹島マーク2往復の予定が風向変化、西からさらに南西にコース変更、小島マークに変更し、20分延期しスタート 2艇の参加でマッチレース、マーク手前でははやぶさが逆転し先行 先行するはやぶさがスピンジャイブに手間取る中後続のあやが逆転 はやぶさはトラブルが続く中スピン再度挑戦するもまたトラブル 下マークでついにリタイア。あやの一人旅となった。 結果は下記のとおりあやがファーストホーム、優勝した。 | | | | | | | |
| 名称 | 6月ポイントスモール | | | | | | | |
| コース | S-小島ブイF | | | | | | | |
| 距離 | | 4.0 | マイル | | | | | |
| 風速 | | 5~9m | | | | | | |
| スタート | | 11:20:00 | | | | | | |
| セーラーNo | 艇名 | TYPE | MRC | 到着時刻 | 着順 | 所要時間 | 修正時間 | 順位 |
| 5426 | AYA | YAM21S | 0.822 | 12:23:15 | 1 | 1:03:15 | 0:51:59 | 1 |
| 6564 | HAYABUSA | Far727 | 0.861 | DNF | | | | 2 |

夏は海で遊ぼう！スナメリの泳ぐ海を守ろう！！

第15回蒲郡マリンカップヨットレース

2013. 8. 4 (SUN)

11:00 START!

コース 三谷一小島(東)一帆走区域灯標一小島(東)三谷

(大島、小島、仏島、三島めぐりレース)

夏・恒例の、楽しいイベントを企画しました。

三谷漁業協同組合の協力を得て、レース後は魚市場でバーベキューです。

レーサーもファミリーも一緒に楽しみましょう！！

賞品多数！乞うご期待！

主催 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会
共催 三河湾クルージングクラブ、白谷ヨットクラブ、JSAF外洋東海三河湾F
協力 三谷漁業協同組合、三谷漁港利用者会ヨット部会
適用規則 2013-2016 国際セーリング規則、帆走指示書
参加資格 小型船舶安全検査合格艇 乗員制限 小型船舶安全検査定員以下
出艇申告・艇長会議 8月4日(日)9:00 三谷漁港魚市場

申込締切 7月29日(月)

申込方法 郵送またはFAX 艇名、艇種、セルNo、連絡先住所、氏名、電話、FAX (様式別紙)
申込先 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会
FAX 0533-57-4401 郵送先 443-0104 蒲郡市形原町三浦町 11-3
参加料 30f未満 8千円、30f以上 1万円
(バーベキュー参加料を含む、炭、食材、その他を用意いたします。)
振込先 三菱東京UFJ銀行名古屋営業部・普通・No2334627・口座名 ヨットレース実行委員会

表彰 8月4日(日)14:00 三谷漁港魚市場
部門分け・レーサー部門、クルーザー部門
クラス分け・各部門の参加艇数に応じてクラス分けする。
修正時間システムは、本レース独自のものを使用する。
各部門、各クラス別上位艇を表彰する。全艇に参加賞あり。
泊地 8月3日(土)は、三谷漁港内に係留可、事前申込要
問合せ先 FAX0533-57-4401 または Eメール naka4401@sk2.aitai.ne.jp をお願いします。

お願い

体験乗船を一部艇に義務付けます、協力をお願いします。
各艇、バーベキューコンロを持参してください。
魚市場の下は濡れています、腰掛用にシートを持参してください。
ゴミは、各艇持ち帰っていただきます。ご協力ください。

第15回 蒲郡マリンカップヨットレース 参加申込書

艇名 (漢字等の場合、カナを付けてください)
セールNo (無い場合、無しと記入してください)
艇種 (ヤマハ23-II等、詳しく記入してください)
全長 m, feet
泊地 (通常、係留等しているマリーナ名を記入してください)

所有者(代表者)氏名
同上 住所

連絡責任者 氏名
同上住所(郵便番号)
同上 電話 FAX

参加料 振込日 年 月 日

レース前夜、三谷漁港に 係留したい、 係留しない

申込締切 7月29日(月)

申込み先 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会

FAX 0533-57-4401

郵送 443-0104 蒲郡市形原町三浦町11-3

Eメール naka4401@sk2.aitai.ne.jp

ハンディキャップ(修正時間係数)算出資料

艇種別の標準データ等から、本レース独自の修正時間係数を算出します。
次の項目について○印等でお答えください。

艇種 (ヤマハ23-II等、詳しく記入してください)

ファーリングジブ 使用、 不使用

プロペラ 船外機、フォールディング、フェザリング、固定2翼、固定3翼

出艇申告時に別紙乗員名簿を記載提出していただきます。 **当日提出** してください。
乗員の氏名、性別、年齢、住所(市町村名)及びコメントを記載してください。

第15回 蒲郡マリンカップヨットレース 乗員名簿

当日提出

艇名 _____ 艇種 _____ 全長 _____ feet

セール No _____ 泊地 _____

所有者（代表者）氏名 _____

所有者（代表者）住所 _____

電話 _____ FAX _____

| | 氏名 | 性別 | 年齢 | 住所（市町村名） |
|------|----|----|----|----------|
| (艇長) | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |

コメント（各艇紹介に使います、乗員・艇の特色などを記入してください）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

不足は裏面を使用ください。